

## 「TSA ロックシステム」とは？

2001年のテロ以来、アメリカでは、空港での荷物チェックが非常に厳しくなっており、アメリカ国内（ハワイ・グアム・サイパン含む）の空港を利用（乗り継ぎ含む）するときの搭乗時の荷物は、**カギを開けたまま預けること**が原則となりました。

施錠されているスーツケースは、TSA（アメリカ運輸保安局）の職員が、検査の際に荷物のカギを破壊する場合もあります。（尚、破壊による賠償は一切ありません）

ただし、この TSA ロックだけは、**TSA（アメリカ運輸保安局）の認可**を受けているため、アメリカで航空機に搭乗する際に**カギをかけたまま**スーツケースを航空会社に預けることができます。

「TSA ロックシステム」は、アメリカ運輸保安局が認定したシステムで、TSA 職員がアメリカの各空港で共通のアクセス装置を使用して、TSA ロックを開錠し、検査するので、無理にカギを開けられて**壊されるといった心配がありません。**

今や、ハワイ・グアム・サイパンを含むアメリカ旅行の必需品となっているのです。（検査後は元通り施錠されますので、ご安心ください。）